



# 言語聴覚学科 履修系統図 (平成26年度入学生まで)

## ディプロマポリシー

- ① 言語聴覚障害学の基礎となる専門基礎科目の学修を基礎とし、科学的・論理的思考ができる。
- ② 多岐にわたる言語聴覚障害に対応可能な臨床能力を修得し、体系的に実践できる。
- ③ 臨床実習を通じ、臨床思考能力と臨床技能を修得し、体系的に実践できる。
- ④ 自らの専門職について主体的に探究し、資質向上のために努力し続けることができる。
- ⑤ 地域社会のニーズをとらえ、他職種と協働して、保健・医療・福祉・教育に貢献できる。
- ⑥ 国際化社会に対応できるような幅広い知識・技能を修得し、グローバルな視点を持てる。

## カリキュラムポリシー

- ① 言語聴覚士として、高度な専門的知識・技能を有し、適切な言語聴覚臨床を提供できる人材を育成する。
- ② 大学院教育・生涯教育を視野に、常に向上心を持って自己研鑽できる人材を育成する。
- ③ 臨床家としての人間性を深め続けられる言語聴覚士を育成する。
- ④ 価値観の多様性を受容しグローバルな視野を持って国際的に活躍できる人材を育成する。

分野・領域	1年次				2年次				3年次				4年次				
	前期	前期	後期	後期	前期	前期	後期	後期	前期	前期	後期	後期	前期	前期	後期	後期	
人文・社会科学系			(必)保健医療福祉制度論 (選)ケースワーク論 (選)患者コミュニケーション論 (選)社会福祉学		(選)ケアマネジメント論												
関連職種連携教育系					(必)関連職種連携論				(必)関連職種連携ワーク							(必)関連職種連携実習	
医学系 (基礎医学、臨床医学)	(必)リハビリテーション概論 (必)生理学 (必)病理学 (必)医学概論 (選)臨床検査学 (必)解剖学 (選)看護学	(選)資生病と病態 (必)公衆衛生学 (選)薬理学 (選)看護学	(必)中枢神経機能学 (必)音声言語医学 (選)老年学 (必)臨床歯科医学(関連)	(必)聴覚医学 (選)脳神経外科学 (必)リハビリテーション医学 (必)臨床神経学 (選)救急医学	(必)精神医学 (必)耳鼻咽喉科学 (必)内科学 (必)形成外科学 (必)口腔外科学	(選)リスクマネジメント論	(選)分子カルシウムによるシグナル伝達機構論 (選)脳神経再生学概論	(必)小児科学									
心理学系		(必)神経心理学 (必)小児発達心理学 (必)生涯発達心理学	(必)認知心理学 (必)心理測定法 (必)学習心理学(関連) (必)言語発達学(関連)	(必)臨床心理学 (選)心理測定法実習(関連) (必)言語心理学(関連)													
音声・言語学系	(必)言語学	(必)基礎音声学	(必)音声学	(必)音声学	(必)音声学				(必)聴覚心理学的研究(必修)								
言語聴覚障害学 総論・各論	(必)言語聴覚障害学概論 (選)小児コミュニケーション障害入門 (選)成人コミュニケーション障害入門	(必)言語発達障害学総論 (必)音声言語障害学各論 (必)構音障害学各論	(必)言語発達障害学各論 (必)構音障害学各論 (必)成人言語障害学各論 (必)言語聴覚障害学診断学 (必)聴覚障害学各論	(必)言語発達障害学各論 (必)構音障害学各論 (必)成人言語障害学各論 (必)言語聴覚障害学診断学 (必)聴覚障害学各論	(必)言語発達障害学I(評価・診断) (必)言語発達障害学II(治療) (必)構音障害学I(治療) (必)構音障害学II(治療) (必)摂食・嚥下障害学I(評価・診断) (必)摂食・嚥下障害学II(治療) (必)音声障害学 (必)補聴器・人工内耳 (必)成人聴覚障害学	(必)言語発達障害学II(治療) (必)言語発達障害学II演習 (必)構音障害学演習 (必)摂食・嚥下障害学II(治療) (必)小児聴覚障害学 (必)小児聴覚障害学演習	(必)失語症学I(評価・診断) (必)失語症学II(治療) (必)失語症学演習 (必)流暢性障害学	(必)言語聴覚療法特論									
卒業研究系									(選)言語聴覚障害学研究法				(選)卒業研究				
臨床実習系	(必)コミュニケーション技能実習		(選)言語聴覚障害学総合演習(臨床基礎)						(必)臨床実習I(評価実習)				(必)臨床実習II(総合実習)				